

文全協歴史講座（第12回）

文化財保存全国協議会（文全協）・奈良歴史遺産市民ネットワーク 共催

行基の供養堂か すがわら —奈良市菅原遺跡を考える—

2021年5月、民間住宅開発（奈良市菅原遺跡）の事前調査で、大規模な回廊に囲まれた8世紀中頃の円形建物遺構の出土が発表され、東大寺大仏の造立に尽力した奈良時代の高僧、行基を偲ぶ供養堂の可能性が指摘されました。しかし、この貴重な遺構は、住宅開発によって「記録保存」という名目で破壊されようとしていました。文全協は、奈良歴史遺産市民ネットワークと連名で急ぎよ「奈良市菅原遺跡の現地保存を求める要望書」を提出したものの、いまだに回答はありません。そこで、「奈良市菅原遺跡を考える」をテーマに、文全協歴史講座を開催することにしました。菅原遺跡について学び、保存について考え合ひましょう。ぜひ、ご参加ください。

日時 2021年

9月25日（土）

13:30～16:00

会場 奈良県教育会館4階
大会議室（先着50名）

近鉄奈良駅より東へ徒歩5分
奈良県文化会館西隣・奈良地方裁判所北側
（奈良市登大路町5-5 TEL:0742-22-0745）



△奈良市・喜光寺（菅原寺）の行基像

資料代 500円

（どなたでも参加できます。但し、マスク着用、手指消毒等、感染症対策にご協力をお願いします。）

てらさきやすひろ
講師：寺崎保広氏（奈良大学名誉教授）

天平の20年と行基

おがさわらよしひこ
講師：小笠原好彦氏（滋賀大学名誉教授・文全協代表委員）

行基の活動と供養堂 —奈良市菅原遺跡を考える—

問い合わせ先 杉田 義 TEL・FAX 0743-52-1404（事前の予約はいりません）

※コロナ感染状況により、延期または中止する場合があります。文全協HP、フェイスブック等でご確認ください。